

令和 年度 技術士第二次試験答案用紙

受験番号										技術部門		部門
●受験番号、技術部門、選択科目、専門とする事項及び問題番号の欄は必ず記入すること。												
選択科目												
専門とする事項												

問題番号 II-1-

← 解答する問題番号（1から4）を点線の枠内に必ず記入すること。

○解答欄の記入は、1マスにつき1文字とすること。なお、英字・数字は1マスに2文字を自安とする。

課題	①	:	い	か	に	複	合	災	害	に	対	応	す	る	か								
の	被	災	地	で	は	二	次	的	な	被	害	が	発	生	し	た	場	合	。	復	興	途	中
被	災	後	に	後	発	す	る	災	害	に	対	し	て	も	、	耐	え	う	る	強	靱	な	ま
ち	づ	く	り	が	重	要	と	な	る	①	。												

① まず文末が「重要となる」としており、問題が求めている課題が何なのか分かりません。問い合わせて的確に解答しましょう。さらに、選択科目なのでもっと都市及び地方計画の技術者としての課題を書くべきです。「強靱なまちづくり」では（選択科目の）技術課題として抽象的過ぎます。しかも、強靱なまちづくりでは、単なる災害対応に見えます。もっと、複合災害という特性に沿った課題設定が必要です。

そもそも、題意は「復興対策を実施するに当たり」です。これでは一般的な防災対策に見えます。論点がズレており、的確な解答と言えないと思います。

解	決	策	①	:	グ	リ	ー	ン	イ	ン	フ	ラ	の	ビ	ル	ト	イ	ン					
緑	の	機	能	を	活	か	し	た	防	災	対	策	を	行	う	た	め	、	グ	リ	ー	ン	
イ	ン	フ	ラ	の	ビ	ル	ト	イ	ン	を	推	進	す	る	②	。	例	え	ば	、	浸	水	想
定	地	域	で	は	、	雨	水	・	貯	留	機	能	を	具	備	し	た	都	市	公	園	を	整
備	す	る	。	雨	水	の	一	時	的	な	抑	制	に	よ	り	、	浸	水	被	害	を	軽	減
さ	せ	る	。	火	災	の	延	焼	防	止	機	能	と	い	つ	た	効	果	も	得	ら	れ	る

② これも「政策的な方針」ではなく「都市計画的に何を、どのように、どの段階で実装するか」を示す必要があります。加えて、なぜこれが複合災害への対策なのかも不明です。単発の防災対策と何ら変わりがなく、複合災害への対応に見えません。さらに復興の視点もありません（具体例も同様）。（復興の視点ではありませんが）グリーンインフラなら、多重防御型の都市基盤再構築といった具合に複合災害にきちんと接続させる必要があります。

課題②：いかに広域連携を図るか

大規模災害の被災後では、行政機能がマヒする場合がある。そのため、自治体間の連携による避難体制の確保が不可欠である③。

③ 文末については①と同様。また、これも都市・地方計画の専門性が弱く、行政機能ではなく都市機能を語るべきではありませんか。都市・地方計画の専門家として求められるのは、「空間計画」「土地利用」「広域交通」「避難圈域」「都市基盤の相互補完」といった“空間的・計画的な広域連携”です。

解決策②：オープンデータ化の推進

施設の構造や修繕状況をデータ化し、オープンデータ化する。地域プラットフォームを通じて近隣自治体が把握できることにより、迅速な復興を実現する④。

④ 課題同様、都市・地方計画の専門性が弱く、行政情報化の話に寄りすぎています。都市計画としては、“どの都市基盤情報を、どの広域計画に活かすか”まで踏み込む必要があります。また、「オープンデータ化」と「地域プラットフォーム」は本来つながる概念ですが、この文章では両者の関係性が示されていないため、脈絡がなくオープンデータ化するのか、地域プラットフォームを作りたいのかよく分かりません。

課題③：いかに強靭な都市構造を構築するか⑤

都市と居住機能の集約による、インフラの選択と集中について記載

⑤ まちづくりと都市構造と使っている言葉は違うものの、最初の課題と重複していませんか。

解決策③：コンパクト+ネットワーク

地域防災計画と立地適正化計画及び地域公共交通計画を連動させた、まちづくりを推進する。⑥

⑥ これも復興対策とどう関係しているのか全く分かりません。